

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ウ	低炭素都市づくりの推進		
施策	③都市と自然の共生			
(施策の小項目)	—			
主な取組	美ら島づくり行動計画推進事業	実施計画 記載頁	43頁	
対応する 主な課題	○沖縄本島中南部都市圏における都市化と開発整備に伴い、温室効果ガスの吸収源となる森林や緑地の存在量が不足していることから、都市と自然が調和した効率的、効果的な都市構造の形成を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	緑化を推進するため、企業、地域住民、学校等の行う緑化活動に用いる花木等の情報・増殖技術について、緑化推進委員会、森林資源研究センター、県緑化担当職員と連携して普及に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		10件 緑化活動件数			→	→	県
	亜熱帯花木等優良団体の選抜・普及、緑化重点モデル地区への植栽						
担当部課	環境部 自然保護・緑化推進課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
美ら島づくり行動計画推進事業	—	—	企業、学校、緑化活動団体への優良花木の情報提供を行った。	—
活動指標名			計画値	実績値
全島緑化県民運動件数			—	105件
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	緑化活動を行う企業、地域住民、学校等に対して、全島緑化県民運動を通じて、各地域の風土に適した花木等の情報提供による支援に取り組むため、全島緑化県民運動推進会議の中で成果情報を収集しており、県民各地域における緑化の成功に効果をあげている。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
美ら島づくり行動計画推進事業	—	企業、学校、緑化活動団体への優良花木の情報提供を行う。	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

森林資源研究センターを活用した希少な緑化樹木の生産・管理技術の普及により、緑化の支援を直接行う担当職員の知識・技術の向上を図るとともに、緑化活動を行う地域住民等に対して、各地域の風土に適した花木等の情報提供による支援に取り組み、緑化の成功に効果をあげている。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
県民による緑化活動件数	68件 (24年)	52件 (25年)	59件 (26年)	→	—
沖縄県植樹祭 参加者数	与那原町 約600名 (24年)	金武町 約700名 (25年)	宜野湾市 約1,100名 (26年)	↗	全国植樹祭 約16,000名 (26年)
状況説明	緑化活動を担う企業、地域住民、学校等に対して花木等の情報提供等きめ細やかな支援を実施することで、緑化の成功を確実に導くことにつながっており、県民による緑化活動件数及び沖縄県植樹祭の参加者数は大幅に増加している。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・緑化活動を成功に導き、成功体験等による緑化活動団体の活動意欲を高めていくことが、今後の緑化活動の増加に結びつくため、引き続き、緑化活動を担う企業、地域住民、学校等に対して、花木等の情報提供等、きめ細やかな支援を実施する必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・引き続き、支援を行う人材の知識・技能の向上等による支援体制を強化する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・緑化活動を担う企業、地域住民、学校等に対して、引き続き、花木等の情報提供等きめ細やかな支援を実施する。

・支援を直接行う緑化担当者の緑化の知識・技能の向上のため、県の樹木医等を活用した研修等を検討する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ウ	低炭素都市づくりの推進		
施策	③都市と自然の共生			
(施策の小項目)	—			
主な取組	全島みどりと花いっぱい運動事業	実施計画 記載頁	43	
対応する 主な課題	○沖縄本島中南部都市圏における都市化と開発整備に伴い、温室効果ガスの吸収源となる森林や緑地の存在量が不足していることから、都市と自然が調和した効率的、効果的な都市構造の形成を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、緑化事業を県民一体となって推進するとともに、企業等と協働で積極的に緑化活動を実施して、緑化活動を普及啓発し、民間への浸透を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	行政、団体、企業等との協働による緑化活動の支		新たな事業による緑化活動の展開			→	県 市町村等
担当部課	環境部 自然児保護・緑化推進課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
全島みどりと花いっぱい運動事業	6,909	5,648	・沖縄県全島緑化県民運動推進会議の開催(H27年2月)。 ・企業との協働による花の名所づくり事業において、クメノサクラの名所づくりを実施(H27年3月)。 ・花のゆりかごプロジェクトによる地域・学校緑化の苗の生産・配布の実施。 ・CO2吸収認証制度の運用及び活用方法の検討を行った。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
全島みどりと花いっぱい運動件数			—	72件
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」の開催により県の緑化事業が総合的・横断的に推進された。また、企業との協働による緑化活動、学校・地域住民等の緑化活動の支援により緑化活動の民間等への浸透がなされた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
全島みどりと花いっぱい運動事業	7,139	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県全島緑化県民運動推進会議の開催 ・企業との協働による花の名所づくりの実施 ・花のゆりかごプロジェクトの実施 ・CO2吸収認証制度の実践 	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

企業、学校、地域住民等の緑化活動を支援して緑化活動の普及啓発を図るとともに、企業等の緑化活動への更なる参加を促すため、新たに地球温暖化防止に対する企業等の社会的貢献を評価するCO2吸収認証制度の運用方法及び活用方法に関する検討を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
県民による緑化活動件数	68件 (24年)	52件 (25年)	59件 (26年)	↗	—
沖縄県植樹祭 参加者数	与那原町 約600名 (24年)	金武町 約700名 (25年)	宜野湾市 約1,100名 (26年)	↗	全国植樹祭 約16,000名 (26年)

状況説明
 沖縄県植樹祭は、県土緑化の重要性を普及啓発するため、緑化推進運動の中心行事として、昭和26年度から毎回開催している。平成26年度は緑化活動件数及び沖縄県植樹祭の参加者数も増加し、緑化推進に係る普及啓発が促進された。

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・本県の緑化を推進するためには、緑化に対する関心を高めていく必要がある。このため、引き続き、「沖縄県全島緑化推進会議」の開催や、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を通じて、緑化活動への普及啓発等により緑化に対する関心を高めていく必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・更なる緑化の推進を目指すため、企業等民間が緑化活動を自発的に行う新たな仕組みづくりが求められている。

4 取組の改善案(Action)

・引き続き、「沖縄県全島緑化推進会議」の開催や、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を通じて、緑化活動への普及啓発等により緑化に対する関心を高めていく。また、新たに検討した森林CO2吸収認証制度を実践し、地球温暖化防止に対する社会的貢献を評価することにより、企業等による緑化活動への更なる参加を促す。